

紀州材の良さを活かす利用技術の開発

紀州材(和歌山県産材)は古くから色つやの良さなどで高い評価を得てきました。



紀州材展



紀州材の家

一方、住宅性能表示制度や公共建築物等における木材の利用推進の取り組みが進む中で、見た目だけではなく、グレーディング等による品質の明確化や、寸法安定性に優れた木材乾燥技術の確立、さらには木材の耐久性向上などの技術開発も求められています。

このような現場ニーズに即し、地域の木材産業の支援につなげるための試験研究に取り組んでいます。



木材の曲げ強度の測定



木材の耐久性診断
(ピロディン)



木材利用部

紀州材の利用・加工技術の開発

生活に紀州材を活かす

低コストな木材乾燥技術の開発

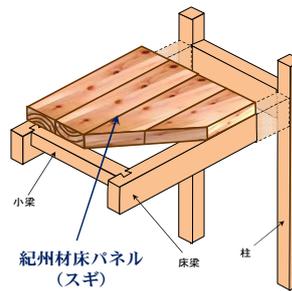


太陽熱利用木材乾燥施設 (本体と産業用除湿)



低コストで乾燥期間を短縮できる太陽熱木材乾燥システムの効率的な乾燥スケジュールの実証と技術普及を進めています。

紀州材の性能を活かした新たな住宅部材の開発



構造用床パネルの開発イメージ



木造軸組工法での紀州材の新たな用途開発として、耐震性能と意匠性を兼ね揃えた、スギ厚板による紀州材構造用床パネルを開発しています。